

## 2021 年リスク評価

### Verisk Maplecroft との包括的なリスク評価プロジェクトによる人権リスク・エクスポージャーの特定

Verisk Maplecroft と、グループ内の一部の事業拠点を対象にデスクトップリサーチによる人権リスクアセスメントを実施しました。評価対象となったリスク指標は、児童労働、適正な賃金、適正な労働時間、職場における差別、結社・団体交渉の自由、先住民の権利、移住労働者、現代奴隷、労働安全衛生、プライバシーの権利です。さらに、地理的、政治的、社会的、産業的、及び当社グループの事業上の要因を考慮して、より人権リスクにさらされる可能性の高い事業拠点を特定しました。これらのアセスメントを通じて、独立した機関によって抽出された世界中の事業拠点がさらされているリスクに基づき、ブリヂストンのデューデリジェンス活動の優先事項を決定しました。

### BSR との人権リスクアセスメントプロジェクトによるリスク及び管理システムの評価

ブリヂストンのグローバルに運用されるリスクマネジメントシステムを評価するため、BSR による社内文書のレビューと社内ステークホルダーへのインタビューを実施しました。評価方法は UNGPs に則り、内容構成は以下の通りとしました。

1. 業務プロセス、関連地域における人権をとりまく状況、関連する業界標準、主要なライツホルダー<sup>※</sup>やステークホルダーへの潜在的な影響を明らかにするための、社内文書及び外部開示資料のレビュー
2. 社内各部署の関係者へのインタビューと国際基準に基づく人権リスクのリストの体系的レビュー
3. 影響の重大性と発生可能性評価
4. 管理体制の全体評価